

## 演芸会的大宴会的四冊合同出版記念会、終了賑裏

2012.6.30

徐根植「鉄路に響く鉄道工夫アリラン—山陰線工事と朝鮮人労働者—」(明石書店)

高祐二「韓流ームの源流と神戸」(社会評論社)

寺岡洋「ひょうごの古代朝鮮文化—猪名川流域から明石川流域—」(むくげの会)

徐正敏「韓国キリスト教史概論—その出会いと葛藤—」(かんよう出版)

待ちに待ったむくげ叢書6冊目、寺岡洋『ひょうごの古代朝鮮文化』の出版記念会が4冊合同で盛大に開催されました。ここ数年、むくげ新春合宿で出版記念会の日程を何回も入れていたので、喜びはひとしおでした。



左から、寺岡洋さん、徐正敏さん、徐根植さん、高祐二さん

徐根植さん、高祐二さんは、兵庫朝鮮関係研究会のメンバー、徐正敏さんは、同志社大学留学時代に学生センター朝鮮語講座の人気講師でしたが、その後延世大学教授を経て現在明治学院大学客員教授をされています。それぞれの本の内容は、本号に紹介されています。



最近のむくげパーティは、開始前から乾杯の練習が始まっていますが、これは正式の乾杯です。オープニングは、主人公のおひとり寺岡さんのピアノ弾き語りです。ご本人からの要望で、酔う前にとのことでした。その後の展開は、スピーチもありましたが、演芸会的色彩が徐々に濃くなりました。



居酒屋ムグンファの李相民さん



大和さん

むくげ歌手も総動員、ゲスト歌手も総動員。午後6時にスタートしたパーティは、8時から2次会、9時半から3次会、終了は10時半でした。会場はずっと学生センターホール。飲んだビールは80本(他にも飲みました)。

むくげ叢書は1989年当初、その第1集、金英達『GHQ文書研究ガイド』以降、1年に2冊、5年で10冊の出版をめざしましたが、1998年の堀内稔『兵庫朝鮮人労働運動史—8・15解放前』(叢書⑤)以降、ブランクがありました。今回の寺岡さんの叢書刊行を契機に、むくげ叢書の出版ラッシュが続くものとおもわれます!?



寺岡さんと奥さん



徐正敏さんとかんよう出版さん



高祐二さんと足立龍枝さん 徐根植さんと奥さん(右)

